

第 50 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：湿地環境の順応的管理—

今回の研修会も、湿地環境の順応的管理というテーマで、湿生生態園のヨシ刈りと、ホトケドジョウのビオトープの再生として、谷戸の水路の造成作業を行いました。



谷戸山公園のある神奈川県は梅雨晴れで、
青々とした稲穂の育つ田んぼには、カルガモの夫婦
が探餌するのんびりとした風景が見られました。



まず初めに、講師から谷戸山公園運営会議で
決めている管理方針や、本日の作業内容
などの説明があります。



こちらは昨年、ホトケドジョウの生息環境の再生のために、陸地化してしまっていた水路を復活させた場所です。一年経ちましたが、粗朶の土止めがちゃんと機能し、水路が保たれています。



上段のような水路の復元のために利用する、間伐材を移動するところから、作業スタートです。
数ヶ月程前まで行っていた、雑木林の管理作業の際、出た間伐材です。



午前中の作業は、湿生生態園の全体を覆ってしまう程の勢いのある、ヨシの刈り取りです。



他の植物の生育を妨げてしまうヨシを刈り、
多様な生きものが暮らせる環境になるよう考え
作業していきます。



ヨシに覆われていた水路も、だんだんと見えてきました。

水面が開けたからでしょうか？

水路の溜りに、オオシオカラトンボの夫婦が産卵に訪れてくれました。(写真右)



デッキや園路は、作業の後ちゃんと清掃します。

もちろんこれも、一般の公園利用者に気持ち良く利用してもらう為の、管理作業です。



昼食をすませて、恒例の最近気になる環境の記事の発表です。今回も、非電化についての話から、各地で行なわれている、ホタルの放流の是非など、様々な興味深い記事や意見が出ました。



午後は、谷戸の水路の復元作業です。ホトケドジョウがこの場所に戻ってきてくれるよう、水辺のエコトーンが再生できるよう、など、生きものの視点で管理作業を進めます。初めに運んだ間伐材を使って杭を作り、水路沿いに打ち込んでいきます。



打ち込んだ杭の内側を、掘っていきます。



完成はまだ先ですが、ひとまず水路の
形が出来てきました。
水路造成の研修は今回で一時中断し、
また9月頃に再開する予定です。



今回もたくさんの生き物に出会いました。写真は左から、クロイトトンボ、サワガニです。

これで、今回の現場研修会は終了です。参加者の皆さん、お疲れ様でした。

次回は、今回と同じく湿地環境の植生管理作業とともに、以前行った間伐地区の植生調査も行います。皆さん、奮ってご参加ください！